

ゆきの灯り

第12号
平成29(2017)年
12月発行
油木協働支援センター
0847-82-0701



大崎上島町視察を終えて



いちば再生事業部

坂口信喜

瀬戸内海は陽光にきらめき、島の人も川崎市から訪れていた民泊の高校生達も笑顔が輝いていました。橋でつながっていない大崎上島、人口約700人の島は町を挙げて体験型修学旅行(民泊)に取り組んでいます。民泊の趣旨は受け入れる側には地域の活性化、高校生側には自然と心豊かな田舎の生活を体験してもらうことにあります。風ご飯の様子を見させていただきましたが、農家でないそのお宅の裏の菜園に高校生たちがピーマンを取りに行くと、焼きそばを作っていました。(慣れない手つきで非常に時間はかかっているようでしたが)私はその楽しそうな様子を見て、これが一生残る修学旅行の思い出になるのだなと強く感じました。

私は大阪生まれで、大阪に約30年暮らししました。油木に暮らしてみると、この地の素晴らしいさを地元の方は余り気づかれない気がします。民泊は都会で味わえない魅力を提供することが出来ます。そして地元に住む私たちは、都会の高校生との交流で、地元の良さを再認識することが出来るのではないかと思います。

体験・交流推進事業部 前原喜美子

私はこれまで民泊に興味もなく、システムも全く知りませんでした。実際に民泊受け入れをされている家を訪問し、受け入れ家庭の皆さんは人と接することが好きな方々なんだなと感じました。受け入れ家庭側のメリットとして、収入の増加・集落の活性化などがあげられます。課題として、女性の負担・衣食住の提供をするため元々な主婦層の手が必要などがあげられます。民泊体験側のメリットとして普段の生活で経験したことのないことを学ぶ、地方の生活習慣を味わう・関わることのない人と関わることで自分の未熟さや経験値に気付くなどがあげられます。生活習慣の違いに行き、いかに協調性が保てるかが大切ですね。お客様ではなく経験を積みに来ているという思いをもたなければうまくはいかないように思います。

最後に、自治体の協力・援助が必要です。神石高原町で成功出来れば、地域活性化に繋がると思います。軌道に乗せるためには油木の魅力を見つけ、育てることだと思います。特に中山間地においてはそれを見つめることが最重要課題だと思います。

大崎上島 視察の1コマ



さわやかな青空



高校生のみかん収穫体験



高校生に話を聞いています



お試し住宅 見学



大崎上島町役場前で記念撮影



役場横の観光協会での説明



受け入れ家庭の方に話を聞いています



受け入れ家庭のしるし

11月19日、小野地域の敬老会には敬老者24名の参加を頂き、スタッフや出演者を含めると総勢85名で盛大に開催されました。鞆の浦から来て頂いた歌い手の弾き語りが始まり、中学生姉妹による演奏、ピンクレディならぬピンクマダム、の奥様方によるダンス、子供たちのカーブ応援歌、そしてカラオケ会の演歌、女性たちと子供たちによる妖しく美しい舞踏会(?)と去年以上に盛りだくさんな舞台で、まさに老若男女みんなで作り上げる暖かい敬老会になりました。

敬老会の後には、前日の農産物品評会に出展された100点もの野菜の競りが行われました。この激安の競りは毎年大人気で、旧小野小学校の廊下に並んだ野菜の前には、ここが過疎地域だとは思えないほどの人口密度がありました。

小野自治振興会より

小野地域の皆さんです。どなたかわかりませんか~



事業部会名	部会内容
体験・交流推進事業専門部会	各振興会で行われている体験交流イベントの中で強化していきたい事業を決定してもらい、その後支援対象としていきます。農泊についても積極的に油木の中で取り組んでいきます。
高齢者等在宅生活支援事業専門部会	来年度に向けて、実行事項として、見守り訪問を行うことになりました。どこにも参加されず、家におられる方を対象として、見守り訪問・声掛けの方法を探っていきます。
わくわく農業チャレンジャー部会	油木高校速見先生に参加いただき、なまず事業についてのレクチャーを受けました。非常に興味深い話で、部会の名前同様、わくわくする事業だと思いましたが、産業化するには、いくつかの課題の解決が必要です。

今月の専門部会



収穫した芋
といっしょ
に記念撮影



11月3日 芋ほり交流会が開催されました。汗ばむくらい作業を約2時間して、芋を収穫しました。その後、東幸館の屋外でカレーライスを食べ、収穫したばかりの芋を石焼きいも器で焼き、デザートにしました。天気もよく楽しい交流会でした。

東油木自治振興会より

消火器を実際に使った訓練



いちば自治振興会より

ゆきキッズクラブ
1月の予定

1月13日(土)
お茶教室

1月20日(土)
英会話教室



12月2日 **そば打ち教室**
そば作りに意欲的なキッズたち。そば打ち同好会のご協力により美味しいそばが出来ました。



11月18日 **楽描き教室**
2018年の干支の犬のカードとクリスマスカードを描きました。

ゆきキッズクラブ 報告



ゆきなび 1月の予定
1月16日(火)
大人の茶道教室



11月29日 **手芸教室**
消しゴムハンコで来年成年の年賀状作りに挑戦しました。個性的で素敵な年賀状が完成しました。定員いっぱい大人気の教室です。



11月14日 **大人の茶道教室**
今年度3回目の茶道教室を開催しました。来年1月に初釜を行います。ご参加お待ちしております。



11月12日 **スカッシュ体験教室**
郡司先生の丁寧なご指導のもと、経験者も初心者もスカッシュを楽しみました。来年3月に第3回目の教室をします。

ゆきなび 報告



今年も寒い冬がやってきました。雪道の運転に慣れていない私はこれからの季節、気分が重いです。2月の大雪の頃、息子が足を骨折して、四駆車のない私はどうやって学校に行かせたらいいか、困りました。歩いていけない息子、運転が怖い私。そんな時、近所の人たちが助けて下さり、息子は一日も休まず学校へ行くことが出来ました。今でもその時のことを思い出すと感謝の気持ちでいっぱいになります。今年はなんとか四駆車も導入しました。

もうすぐ新たな年が始まります。油木協働支援センターもバージョンアップして、住みよい油木のまちづくりを目指していきたいと思っています。よいお年を。

(久保)

編集後記

私も同じ思いです。「いつの間にか」という感じ。「断捨離」についてですが、本はかなりの処分しました。読むよりも集めることに執着していた時期がありました。最近あまり買いません。どうしても捨てられない物があります。それは釣具です。今も使っています。竿やリールが山ほど(大げさですが)あります。

「親の宝は、子どもにとってはただのゴミ」とも言いますから、早いうちに何とかしなくてはと思っています。「断捨離」と「終活」、この二つが



この頃思いつく その二
西油木自治振興会長 三原 豊